

第6回国土管理専門委員会の主な内容について

(1) 日時:平成29年12月7日(木)14:00～16:30

(2) 場所:経済産業省別館850会議室

(3) 出席委員

中出委員長、飯島委員、大原委員、瀬田委員、土屋委員、中村委員

(4) 取組事例発表者

① 綾町ユネスコエコパーク推進室 河野 円樹 主任主事

② 上三光清流の会 小柳 繁 代表

③ NPO法人 鳴子の米プロジェクト 上野 健夫 理事長

(5) 議事概要(委員・発表者からの主な御指摘)

① 綾町 河野氏による取組事例の紹介について

- ・ (当該地域の)過去からの山の恵みを使ってきた歴史が存在
- ・ 自然を守ることでそこからの恵みを最大限利用
- ・ 大きくない資源であっても、無理のない形で上手に活用

② 上三光清流の会 小柳氏からの取組事例の紹介について

- ・ 優れたコンテンツである農業体験をいかした「体験と共有」
- ・ GISなどを通じた集落と農村資源の「見える化」と「共有」
- ・ 集落の状況を知らない住民の存在、特に集落外で就労する住民の認識に留意
- ・ 自己管理できない土地の共同管理

③ NPO法人鳴子の米プロジェクト上野氏からの取組事例の紹介について

- ・ 田園風景を観光地にとって欠かせないものにとらえ、異業種間においても町全体で協力し合うことで町の農業を活性化
- ・ 土地利用の持続可能性を確保するための価格の提示
- ・ 作り手と食べ手の価値観の共有と信頼関係の構築
- ・ 「消費者への教育活動」の実施

④ 各委員からの主な御指摘

- ・ 活動において、中核となるような組織が重要
- ・ 主体の組み合わせ、一人がいろいろな役割を果たすことが大事
- ・ 組織間の横串が通ることが大切
- ・ 今回発表された事例はいずれもグッドプラクティスであるが、普通の地域でも取り組めるようにする必要がある
- ・ ネックになるのは次世代・後継者
- ・ 行政の役割・当事者間のルール設定